

令和2年12月15日
国土交通省 熊本河川国道事務所
国土交通省 八代河川国道事務所
熊本県土木部 道路都市局

橋梁の点検支援技術活用講習会の開催について

熊本県道路メンテナンス会議主催による、地方自治体支援の一環として県内の地方公共団体職員等を対象に橋梁の点検支援技術活用講習会を開催しますのでお知らせします。

この講習会は、橋梁の点検支援技術の活用により、点検方法の効率化が図られることから地方公共団体の点検支援技術に対する理解を深め、定期点検を行う上での技術の活用方法や留意点等に関する知見を習得し、自らの定期点検に反映してもらうことを目的として開催するものです。

なお、「熊本県道路メンテナンス会議」とは、道路施設の維持管理・補修を効率的・効果的に行うため、各道路管理者が相互に連絡・調整を行い、道路施設の点検計画等を共有することにより、道路施設の予防保全・老朽化対策を円滑に行うことを目的とした会議です。

記

◇ 講習会の概要

＜日 時＞ 令和2年12月18日（金） 13時30分～ （2時間程度）

＜場 所＞ 国道3号 やまが おおはし 山鹿大橋（別紙地図参照）

＜出席者＞ 地方公共団体職員（保全業務担当者）ならびに
点検従事者（コンサル等） 30名程度

＜内 容＞ 地方公共団体が定期点検を行う上で点検支援技術を円滑に活用できる
よう、技術活用の流れや留意点等について説明

◇ 報道関係者の皆様へ

- ・取材される場合は、ヘルメットを貸与しますので前日の15時までに以下の問い合わせ先へご連絡ください。
- ・悪天候の場合は延期または中止する場合があります。その際は事前にご連絡します。
- ・＜別添＞新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力をお願いします。

《問い合わせ先》

■ 国土交通省 熊本河川国道事務所	TEL 096-382-1111（代表）
総括保全対策官	ぬまた ひであき 沼田 英昭（内線：308）【総 括】
道路管理第二課長	やはた せいこう 矢羽田 成 巧（内線：441）【内容等】
■ 熊本県 土木部 道路都市局	TEL 096-383-1111（代表）
道路保全課長	よしがしま さずみ 吉ヶ嶋 雅 純（内線：6100）
道路保全課課長補佐	えぐち たかひろ 江口 貴 弘（内線：6102）

<別添>

○新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力依頼

取材にあたり、新型コロナウイルスの感染防止対策として、以下の内容について、ご協力をお願い致します。

1. 当日、発熱がある場合や具合が悪い場合には、取材を控えて頂きますようお願い致します。
2. 会場にお越しになられましたら、速やかに受付にて、参加者ごとに「所属・氏名・連絡先」のご記入をお願いいたします。
3. 受付時の検温及び消毒液による手指消毒にご協力をお願いします。検温の結果、取材をご遠慮頂く場合がありますので、あらかじめご承知ください。
4. 開催日（12月18日）から過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をされた方は、取材を控えて頂きますようお願い致します。
5. 集団感染を防ぐため、取材スタッフは最小限の人数でお願いするとともに、会場においては「3密回避」など感染症拡大防止にご配慮ください。
6. 飛沫感染防止のため、来場時にはマスク等の着用にご協力をお願い致します。
7. 参加後に発熱などの症状が出ましたら、必ず担当者までご連絡をお願いします。
8. 万一、参加者に感染者が発生した場合は、保健所の聞き取り調査に協力願います。
また、感染者が発生し参加者が濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があることを御承知ください。

<担当者>

熊本県 土木部 道路都市局 道路保全課
課長補佐 江口 貴弘（電話：096-383-1111）

別紙地図

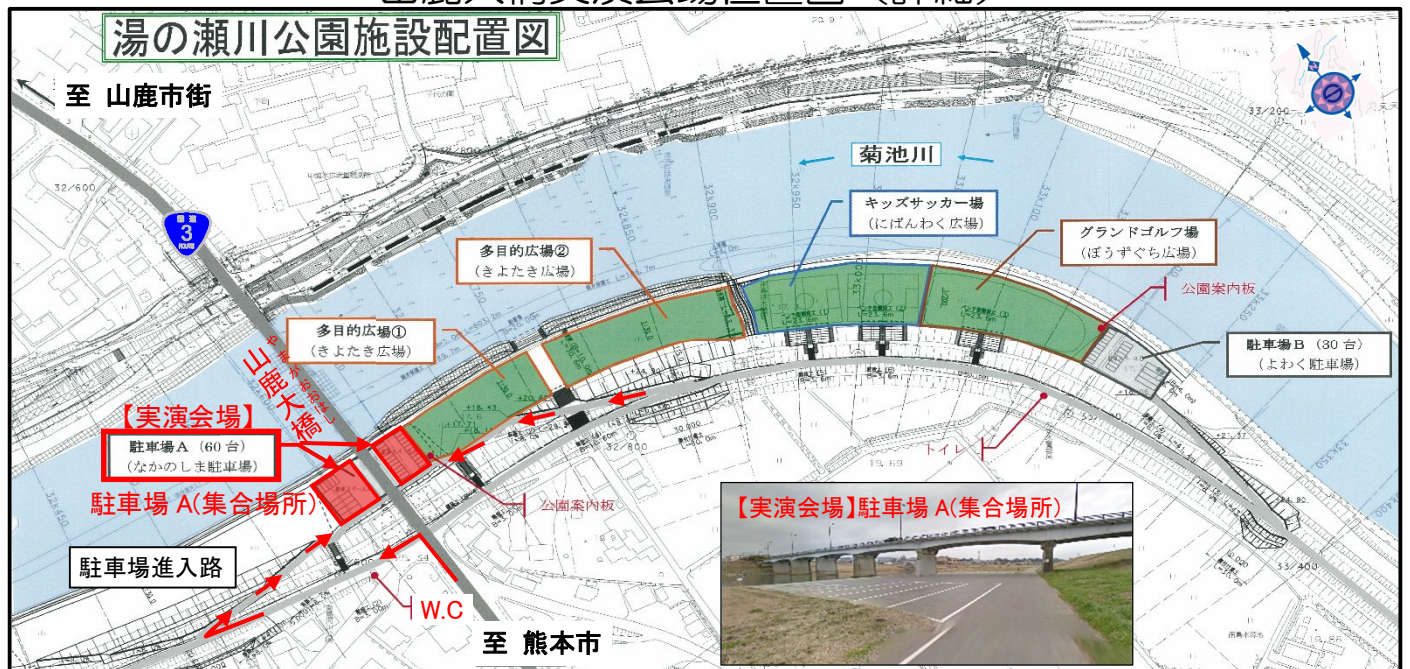
点検支援技術活用講習会 現地実演会場位置図【山鹿大橋】

やまがおおはし



やまがおおはし

山鹿大橋実演会場位置図（詳細）



点検支援技術活用講習会 現地実演新技術の概要について

光波測量器「KUMONOS」及び高解像度カメラを組み合わせた高精度点検システム「シン・クモノス」

◆分類：画像計測技術

◆検出項目：ひびわれ

遠方より損傷の形状や幅の計測可能な光波測量器「KUMONOS」と高解像度カメラの撮影補正を組み合わせることで構造物表面の変状、ひびわれを検出する。

KUMONOS で計測したひびわれ幅を用いて、別に撮影した写真のひびわれ幅を自動検出する「シン・クモノス」によりひびわれを効率良く計測する。

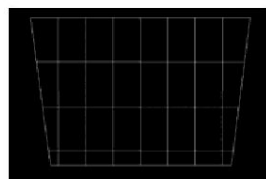
KUMONOS



203×226×325(mm)

写真-1. 光波測量器「KUMONOS」

①KUMONOS による形状計測と代表ひびわれの計測

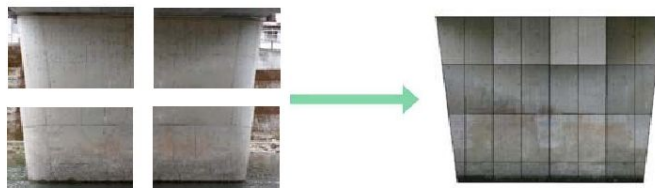


形状計測データ



代表ひびわれの計測データ

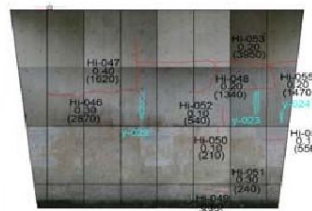
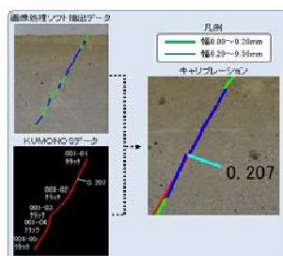
②画像補正ソフトを用いた画像補正



撮影写真

編集

③写真からひびわれを抽出し、データからキャリブレーション⇒成果図



近接目視・打音検査等を用いた飛行ロボットによる点検システム

◆分類：非破壊検査技術

◆検出項目：うき

ドローンに搭載した打音検査機構で、コンクリート表面を叩き、うきを検出する。点検は打音検査に加えて搭載されたカメラにより表面状態の点検も可能である。

解析システムでは、点検ロボットにより取得した打音信号をもとに表面状態の画像を参考にうきの有無を推定する。検査者の技量や経験によらず定量的にかつ、広範囲（一日あたり 300m² 以上）の検査を行うことが可能である。

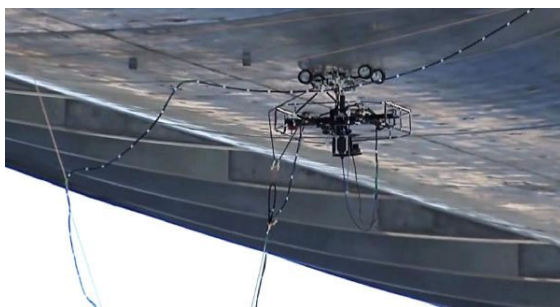


写真-1. 点検風景

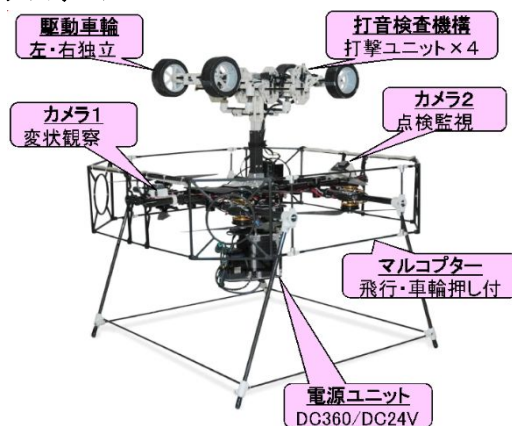
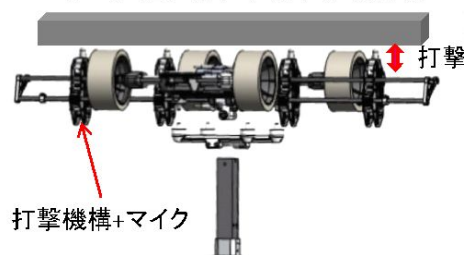


写真-2. 飛行型点検ロボット

【4連ピストン式打撃機構】



打撃間隔120mm～200mm可変

写真-3. 打音検査機構